



社会福祉法人 恩賜財団 済生会和歌山病院

〒640-8158 和歌山市十二番丁45番地
TEL. 073-424-5185
FAX. 073-425-6485



ホームページ: <http://www.saiseikai-wakayama.jp/>

済生会

わかやま

NEWS

第15号 発行日: 2008.11

～患者様の権利～

- 1、患者様は、平等に良質で適切な医療を受ける権利があります。
- 2、患者様は、医療に際して十分な説明を受ける権利があります。
- 3、患者様は、検査・治療等に際してそれを受けることを自己の判断のもと承諾あるいは拒否する権利があります。
- 4、患者様は、医療のどの段階においても他の医師や医療機関の意見を求める権利があります。
- 5、患者様は、自己の病状についての情報を得る権利があります。
- 6、患者様は、自己の病状について個人的情報の秘密を守られる権利があります。

— Information —

開院60周年を記念して

済生会和歌山病院は、終戦後の混乱がやっと落ち着いた昭和23年、和歌山市手平（現・新生町）の海草郡役所跡を買い取って6診療科37床の病院として誕生、今年10月25日で開院60周年を迎えました。60年といえば、人生では還暦です。人は幼少からの教育を終え、20歳で成人式を迎え、それぞれの道で世のため人のために働き、多くの人は60歳で定年を迎えます。昔は人生わずか50年でしたが、平均寿命が80歳を越えた今、還暦は暦を振り出しに戻し、もう一度新たな目標におかかって再出発する節目の年です。和歌山病院も、今年その還暦を迎えたのです。人生は長生きしても100歳でしょうが、病院に終わりはありません。いや、昨今の後期高齢者医療問題にみられるように、医学が進み、人の寿命が延び、高齢化が進めばますます病院の重要性は増すはずです。和歌山病院が、今後もすばらしい病院として100年後にも元気で生き続けるために、新たな気持ちで出発したいと思います。この60年を振り返ってみると、いろいろな苦難もありました。院長の引き受け手もなく、病院の存続が危ぶまれた時期もありました。しかし、めでたく60周年を迎えることができたのは、今日まで支えてくださった地域住民の皆さん、全国済生会組織、和歌山県、県立医科大学、県・市医師会などの多くの関係者の皆さん、そしてなによりも苦しいときも共に頑張ってくれた病院職員の皆さんのお蔭であります。改めて皆様方に心から感謝申し上げるとともに、今後もご支援ご協力くださいますようお願い申し上げます。

創立60周年を記念して、市民公開講座・無料健康相談を開催し、ボランティア事業として和歌山城の清掃を行いました。その他に特筆したいことは「和歌山県企業の森事業」に参加して、かつらぎ町花園・梁瀬地区の山に植樹し「済生の森」を作ったことです。企業の森事業への参加は、医療以外のことでも、世のため人のために貢献できたらと考えたからです。済生会病院は、明治天皇の「施薬救療以ッテ済生の道を弘メントス」という設立以来の「済生の心」を胸に、常に医療で住民に貢献して参りました。しかし、医療以外の分野でも人のために貢献できたらと考え、職員から寄付を募って植樹を計画したのです。全職員から多額の寄付をいただき、地球温暖化防止のためのおさやかな森を作ることができました。医療以外の分野でも、当院職員の優しさを感じとっていただければ嬉しい限りです。



院長 林 靖二

～ボランティア活動・和歌山城清掃～

60周年記念事業の一環として10月26日の午前中に和歌山城公園の清掃ボランティアを企画しました。

前日の天気予報すっきりはずれ小雨となっていました。当初雨天は中止となっていたにもかかわらず、30名の職員が玄関前に集合してくれていました。



院長の「小雨でも決行しましょう」の挨拶をうけ清掃することとなり、和歌山城二の丸周辺のゴミや落ち葉の回収を和気藹々のうちに約1時間清掃すると、ゴミ袋が20個満杯になり、あたりはすっきりきれいになったようでした。

記念撮影を終えたみんなの顔もすっきり雨に濡れていましたが、なぜかいきいき弾んでいるように見えとてもきれいでした。

副院長の「来年ももっときれいにお掃除しましょう」の閉会の挨拶をうけて当院までもどりでしたが、清掃ボランティアを通じて職員が協力して作業することで、気持ちが一つになり、小雨の中ではありませんでしたが、とっても気持ちのいい一日でした。



担当責任者：栄養管理科技師長 仁坂美穂

～市民公開講座～

10月26日午後1時より60周年記念事業実行委員長でもある丸山秀夫診療技術部長の総合司会で、ダイワロイネットホテル和歌山モンティグレにて市民公開講座を開催致しました。はじめに、林院長より開会の挨拶と済生会病院についての説明があった後、竹田事務部長より済生会和歌山病院の歴史について講演がありました。その後、野村放射線科部長の座長の下、和歌山県立医科大学 臨床検査医学



教授 三家登喜夫先生より、「メタボリックシンドローム」についての特別講演がありました。大変興味深い講演内容であり、会場より活発な質問がありました。

小雨で心配しましたが、93名の参加があり盛況に終了しました。また、テレビ和歌山のニュース取材があり、会場でカメラ撮影が行われました。ご協力頂いた関係者の皆様に感謝申し上げます。



担当責任者：放射線科部長 野村尚三

～60周年記念誌発行～

今回、記念誌発行に当り、60周年委員会及び年報作成委員会にて検討の上、統一した書式に記載をすることを取り決め、各部署、各委員会、更に歴代院長等に原稿を依頼し作成に当りました。締切日を過ぎても提出されない部署があり最後まで苦労しましたが、創立記念日まで何とか間に合い無事に発行することが出来ました。記念誌発行部数は、500部で、職員全員及び全国済生会病院や関係者に配布を行いました。本記念誌発行に当り、ご協力頂いた方々に感謝いたします。



担当責任者：臨床検査技師長 田中久晴

～無料健康相談～

定例行事の無料健康相談会は、今年は10月26日に当院7階多目的ホールにおいて、当院創立60周年の記念行事の一つとして開催いたしました。

無料健康相談会では、糖尿病代謝内科、循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科などの医師による相談と、薬剤師による薬の相談、管理栄養士による栄養食事相談などが行われ、58名の参加を得ました。無料検査コーナーでは、血圧測定、骨密度測定、体脂肪率測定や動脈硬化の程度を調べるABI検査など、通常の家計では計測できないような精度の高い機器も備えて検査が行われ、それらの結果についての詳細な説明が3時間にわたり時間一杯に行われ、7階ホールは熱気につつまれました。参加者アンケート調査では、ほぼ全員の方が『有意義で満足であった』、『この相談会をずっと続けて欲しい』とありました。



今後も『頭のとっぺんから足の先まで』診療のできる身近な病院として、市民の皆様と直に接し、生の声を聞き、当院に求められる医療は何かを知る絶好の機会と考え取り組んでいきたいと存じます。

担当責任者：脳神経外科部長 仲 寛

～「済生の森」植樹祭～



済生会和歌山病院開院60周年記念事業最後のイベント「済生の森」植樹祭を11月1日10時から、かつらぎ町花園梁瀬地区で行いました。院長はじめ38名の職員やその家族が参加し、又県庁・かつらぎ町・森林組合の職員多数が応援に駆けつけて頂き無事終了しました。当日は、好天に恵まれ絶好の植樹日和でした。先ず、院長の挨拶に続き森林組合員の方から植樹方法の指導があり、その後全員でもみじ40本を約1時間で植樹しました。山の傾斜を心配していましたが、全員がもみじの苗木を1～5本植樹していました。山肌に

トンガで30センチ位の穴を掘り、苗木を少し斜めに植えて土をかけ後は踏み固めて終了。この作業は結構疲れますが、予定のもみじを植え終わると、クヌギ・コナラ・山桜の一部を植え全員怪我もなく約2時間楽しく過ごすことが出来ました。今回60周年記念事業の一環として皆様の浄財を頂き、「済生の森」を育てることになりました。この済生の森は、職員全員がこれから育てていくものです。機会があれば家族で自分の育てる木を見に行ってくださいれば嬉しく思います。



担当責任者：事務部長 竹田 正



済生会和歌山病院外来診療予定表

(平成20年11月1日現在)

区 分		月	火	水	木	金
内科・糖尿病代謝内科 ・ 消化器科	2 診	山原 邦浩	—	山原 邦浩	井関 良夫	川口 雅功
	3 診	文野 真樹	—	川口 雅功	梅田 恭史	文野 真樹
	4 診	梅田 恭史	江川 公浩	荒古 道子	江川 公浩	荒古 道子
循環器科	5 診	木村 桂三	大鹿 裕之	尾鼻 正弘	木村 桂三	大鹿 裕之
放射線科		—	—	野村 尚三	—	—
脳神経外科	7 診	仲 寛	中川 真里	乾 芳郎	仲 寛	林 靖二
	8 診	乾 芳郎	—	—	林 靖二	—
外科・心臓血管外科	8 診	—	高垣 有作	—	—	岩橋 正尋
	9 診	重里 政信	太田めぐみ	重里 政信	太田めぐみ	中村 恭子
	10 診	岩橋 正尋	—	—	—	—
整形外科	13 診	延與 良夫	船岡 信彦	新患診	松崎 交作	船岡 信彦
	14 診	北野 岳史	納田 和博		納田 和博	延與 良夫
リハビリテーション科	6 階	担当医	西田 秀樹	西田 秀樹	担当医	担当医
耳鼻咽喉科	15 診	医大応援医師	—	医大応援医師	—	—
腎センター	2 階	—	—	—	岡本 昌典	—
眼科	2 階	大川記羊美	大川記羊美	—	藤田 周子	友寄 勝夫
皮膚科	2 階	上中智香子	—	—	山本 有紀	—
泌尿器科	2 階	—	—	佐々木有見子	—	新谷 寧世

※内科 井関 (一般) 川口 (肝/消化器)
江川 (糖尿病・代謝) 文野 (肝/消化器)
荒古 (糖尿病・代謝) 山原 (肝/消化器)
梅田 (糖尿病・代謝)

【受付時間】 午前 (全科) 8時45分～11時00分
(但し、予約患者さまは除く)

* 土曜日は休診ですのでご注意ください。

【地域医療連携室利用紹介患者数】

平成20年 4月…194件 5月…226件 6月…254件 7月…206件

のご利用頂きありがとうございました。

診療案内

診察日：月～金曜日

受付時間：午前8時45分～午前11時 (但し、予約患者様はこの限りにあらず)

休診日：土・日・祝祭日 (年末年始)

面会時間：月～金曜日 午後2時～午後7時 土・日・祝祭日 午前10時～午後7時



交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ

地域医療連携室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187